## お陰様で115周年 本当にありがとうございます!!

みなさまこんにちは。

平成31年3月を持ちまして、弊社は創業15周年を迎えさせて頂くことができました。 これも一重に弊社の商品・サービスを信じて頂いたお客様おひとりおひとりのお陰と厚 く感謝申し上げます。

15年前の創業の場所は、出雲市中町のアーケードにあるチャレンジショップでした。 まったく無名の会社の上に「太陽の光で発電?」「ソーラー?」というように、太陽光発電自体も認知度が低 い時代の中で弊社の説明に耳を傾け、環境への思いにご賛同頂いたお客様には心より感謝申し上げます。 また「固定価格買取制度」が始まってからも競合他社が多数ある中、弊社の思いやサービスにご共感を頂いた 皆様に支えられて今日に至っております。

今後も再生可能エネルギーを取り巻く環境は法改正や市場環境により左右され、市場の環境も決して良いと言 える物ではありませんが、今と未来の子供たちが安心して幸せに暮らす事が出来る世の中を実現する為に、 また、これまでの15年以上にお客様より愛される会社であり続ける為に社員一丸となって頑張って参ります。 今後とも変わらぬご愛顧の程宜しくお願い申し上げます。

彼岸とは「到彼岸」の略語で、 生死煩脳を離脱した仏の世界に 到達するという意味です。

毎年春分と秋分の日の前後7日間を彼岸と 春分の日の太陽は真東から昇って真西に沈むこ とから、西方浄土に最も近づく日と考えられ、 その日に先祖の冥福を祈り、墓参りをする日と なりました。

春のお彼岸に作るぼた餅は牡丹の花に似せて丸 く大きく作られ、秋のお彼岸には萩の花に似せ て小ぶりで楕円形に作るため、おはぎと呼ばれ ています。

ぼた餅はこし餡、おはぎはつぶ餡ともいわれる 所以は、小豆の収穫期が秋のため、おはぎの時 期は皮がやわらかいので皮ごと潰すつぶ餡にし、 餅の時期は皮がかたくなっているためこし といわれています。

この日に食べるぼた餅は小豆の 働きで疲れやむくみを取り春の 農繁期を前に体力をつけるとい う思いも込められています。

## **多月14日**

この日はアインシュタインが生まれた日(1879年)です。 彼は意外に日本との接点があり、1922年に1カ月半日本 に滞在しています。

来日する際の船のなかでノーベル賞受賞の電報を受けたこ ともあって、アインシュタインいわく「命が危険なほど」 の大歓迎を受けています。

彼は息子への手紙のなかで「日本人が一番好きだ。謙虚で 物分かりや察しがよく、技術に対する勘があるから」と書 いています。

自慢のバイオリンを演奏して歓迎に応えました。

とくに感激したのは、天ぷら弁当に付いていた昆布の佃煮 だったそうです。

ところが彼の理論がひとつのベースとなり、原爆が開発さ

後年、彼は日本の科学者・湯川秀樹に会ったとき、泣いて 謝ったそうです。

科学と戦争のあやうい関係に ついて考えさせられます。



(1922年11~12月ころ)

日本には草や藁で作った人形(ひとがた)で自分の体を撫でて穢れを移し、それを川に流すことで厄払いや邪気祓 いを行う風習がありました。また一方、貴族階級の女の子の間では、紙の人形を使った遊びが流行っていました。

この遊びと川に流す人形(ひとがた)が結びついて「流し雛」が誕生しました。さらに江戸時代になって人形作り るように変化していきました。これが







### 新しいスタッフのご紹介

西村 孝志です! よろしくお願いします!

誕生日:昭和49年8月13日

趣 味 : 模型·読書 特技: 赤ちゃんの沐浴 好きな食べ物 : カレーライス

事前準備をしかり行い、お客様への負担を できるだけ減らした施工を目指します。



# 盤ソーラープロジェクト大社